

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日 東

上場会社名 ヒーハイスト精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	691	△10.6	65	△24.2	64	△24.0	44	△20.7
2019年3月期第1四半期	773	3.7	86	△41.0	84	△41.9	55	△45.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 45百万円(△15.2%) 2019年3月期第1四半期 53百万円(△46.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	6.99	—	—	—
2019年3月期第1四半期	8.91	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,792	70.8	3,394	70.8	—	—
2019年3月期	4,893	69.0	3,374	69.0	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,394百万円 2019年3月期 3,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,265	△9.1	73	△41.0	73	△40.1	41	△48.7	6.61	—
通期	2,603	△5.3	178	0.5	178	0.7	115	3.6	18.44	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,316,700株	2019年3月期	6,316,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,984株	2019年3月期	3,984株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,312,716株	2019年3月期1Q	6,241,016株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び個人消費は堅調に推移しておりましたが、米中貿易摩擦の激化により、主に中国向け輸出の減少や設備投資の減速等により、先行き不透明感が以前よりも増しました。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れて行き、現場改善等により生産性向上に取り組んで参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は691,398千円（前年同四半期比10.6%減）と減収となり、経常利益は64,378千円（前年同四半期比24.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44,111千円（前年同四半期比20.7%減）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、輸出や設備投資の減速が影響し、産業用機械業界等の需要が落ち込んだことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は341,869千円と前年同四半期と比べ157,335千円の減少（前年同四半期比31.5%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の受注が引き続き好調となり、顧客の高精度化や短納期への要求に応えてきたことで、売上高は288,464千円と前年同四半期と比べ77,207千円の増加（前年同四半期比36.5%増）となりました。

ユニット製品につきましては、国内企業向けの販売を伸ばしたものの、中国向け等の需要低迷により、売上高は61,064千円と前年同四半期と比べ1,723千円の減少（前年同四半期比2.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,792,157千円となり、前連結会計年度末と比べ101,461千円の減少となりました。主な要因は、たな卸資産20,785千円の増加に対し、現金及び預金176,000千円の減少によるものであります。

負債は、1,397,534千円となり、前連結会計年度末と比べ121,413千円の減少となりました。主な要因は、仕入債務80,260千円、借入金36,879千円の減少によるものであります。

純資産は、3,394,623千円となり、前連結会計年度末と比べ19,951千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金18,861千円の増加によるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は70.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2019年5月15日公表の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の業績予想から変更をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	951,565	775,565
受取手形及び売掛金	368,058	332,789
電子記録債権	414,931	451,515
有価証券	—	47,027
商品及び製品	168,805	199,957
仕掛品	483,844	477,623
原材料及び貯蔵品	194,720	190,574
その他	46,094	50,080
流動資産合計	2,628,019	2,525,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	601,751	600,620
機械装置及び運搬具(純額)	299,459	287,404
工具、器具及び備品(純額)	53,326	53,550
土地	1,063,504	1,063,504
リース資産(純額)	41,734	34,631
建設仮勘定	3,412	4,469
有形固定資産合計	2,063,189	2,044,180
無形固定資産	17,852	16,409
投資その他の資産		
保険積立金	120,922	146,416
その他	63,636	60,018
投資その他の資産合計	184,559	206,435
固定資産合計	2,265,600	2,267,024
資産合計	4,893,619	4,792,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	545,502	488,075
電子記録債務	164,835	142,002
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	147,749	140,029
リース債務	21,637	18,092
未払金	76,105	81,517
未払法人税等	43,824	24,455
賞与引当金	24,994	8,495
営業外支払手形	10,787	33,390
その他	71,902	74,788
流動負債合計	1,137,338	1,040,847
固定負債		
長期借入金	170,361	141,202
リース債務	22,563	19,262
役員退職慰労引当金	115,040	117,899
退職給付に係る負債	72,046	76,364
その他	1,598	1,958
固定負債合計	381,609	356,687
負債合計	1,518,948	1,397,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	679,512
利益剰余金	1,957,701	1,976,562
自己株式	△716	△716
株主資本合計	3,369,049	3,387,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△95	△220
為替換算調整勘定	5,717	6,932
その他の包括利益累計額合計	5,622	6,712
純資産合計	3,374,671	3,394,623
負債純資産合計	4,893,619	4,792,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	773,249	691,398
売上原価	570,093	502,219
売上総利益	203,155	189,178
販売費及び一般管理費	116,836	123,739
営業利益	86,319	65,439
営業外収益		
受取利息	78	82
有価証券利息	83	179
受取手数料	2,019	1,492
廃材売却収入	151	150
為替差益	—	729
その他	13	33
営業外収益合計	2,345	2,667
営業外費用		
支払利息	1,079	755
有価証券評価損	1,568	2,972
為替差損	1,344	—
営業外費用合計	3,991	3,727
経常利益	84,673	64,378
特別利益		
固定資産売却益	—	14
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産売却損	11	—
固定資産除却損	—	534
特別損失合計	11	534
税金等調整前四半期純利益	84,661	63,858
法人税等	29,058	19,747
四半期純利益	55,603	44,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,603	44,111

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	55,603	44,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△820	△124
為替換算調整勘定	△1,475	1,215
その他の包括利益合計	△2,295	1,090
四半期包括利益	53,307	45,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,307	45,202

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。